

ファシリテーション総論

教育ファシリテーション研究所/星槎大学大学院

教育学博士/言語聴覚士

三田地 真実



独立行政法人教職員支援機構

ファシリテーション動画の全体構成

1. ファシリテーション総論 **(本動画)**
2. ファシリテーション各論Ⅰ
(会議・話し合いに活用するファシリテーション)
3. ファシリテーション各論Ⅱ
(授業に活用するファシリテーション)
4. ファシリテーション各論Ⅲ
(学校経営に活用するファシリテーション)

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？

令和5年度「新たな教員研修制度」指針案

「校長には、**教員ときちんと話し合いながら**、その教員の資質や能力を把握する力が一層求められる。今回の研修制度は、校長の力量が非常に問われる」

末松信介文部科学大臣会見より（令和4年6月28日）

出典：教育新聞 6月28日

https://www.kyobun.co.jp/news/20220628_06/

公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針改正案のポイント②

資質向上の基本的な考え方

- ・**研修履歴を活用した資質向上に関する指導助言等**
(個別最適な学び、協働的な学び、研修受講に課題のある教師への対応(職務命令による研修受講)など)
※具体的な内容は、ガイドラインで定める
- ・**多様な内容・方法**による資質向上
(教育委員会、教職員支援機構、大学等の様々な学習コンテンツの活用、教員育成協議会を通じた取組)
- ・**「現場の経験」を重視した学び**(校内研修・授業研究等)と**校外研修の最適な組合せ**
- ・**対面・集合型研修、同時双方向型オンライン研修、オンデマンド型研修の適切な組合せ**
- ・**研修成果の確認方法**の明確化
(特にオンデマンド型コンテンツは知識・技能の習得状況の確認方法をあらかじめ設定、定期的な授業観察等)

資質向上の基本的な視点

- ・**教師一人一人の視点**
(普遍的な素養、**必要な学びを主体的に行う姿勢、児童生徒性暴力等の防止等**)
- ・**学校組織・教職員集団の視点**
(**多様な専門性**を有する質の高い教職員集団の構築、**チームとしての同僚・支援スタッフとの分担・協働、家庭・地域・福祉・警察等との連携協働**)
- ・**社会・学校の変化の視点**
(いじめ・不登校、特別な支援を必要とする子供への対応、外国人児童生徒等の対応、主体的・対話的で深い学び、道徳教育、小学校外国語教育、ICT活用などの今日的な教育課題への対応など)

校長に求められる資質能力の明確化

- ・**校長の指標を教員とは別に策定**することを明記
- ・教職員の資質向上などの**人材育成**の役割、今後特に求められる「**アセスメント能力**」(様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有する)や、「**ファシリテーション能力**」(学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化する)など

教師に求められる資質能力の構造化

- ・共通的に求められる**資質能力**を、①教職に必要な素養、②学習指導、③生徒指導、④特別な配慮や支援を必要とする子供への対応、⑤ICTや情報・教育データの利活用の**5つの柱で再整理**
※具体的な内容は、別途大臣が定める

研修機会・体制整備等

- ・日常的な**校内研修**等の充実(互いの授業参観・批評等)
- ・管理職の下での主体的・自律的な研修の**全校的な推進体制**
- ・研修**内容が適時見直される仕組み**の整備
- ・**研修の精選・重点化**を含む効果的・効率的な実施
- ・中堅段階以降も含めた研修機会の充実
- ・研修内容の系統性の確保(シリーズ化、グレード化、関連付け等)
- ・資質向上にあたり、**教員育成協議会で大学等と協議することが望ましい事項**を具体的に例示(大学における研修プログラムや人事交流等)
- ・臨時的任用教員等への研修機会の充実
- ・教育委員会が行う**研修内容・方法**について、時代に応じて求められる資質の向上が図られるものとなるよう、**国として定期的にフォローアップ**

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

2. 「ファシリテーション」とは？

3 指標の内容を定める際の観点

(1) 校長の指標

校長に求められる基本的な役割は、大別して、学校経営方針の提示、組織づくり及び学校外とのコミュニケーションの3つに整理される。これらの基本的な役割を果たす上で、従前より求められている教育者としての資質や的確な判断力、決断力、交渉力、危機管理等のマネジメント能力に加え、これからの時代においては、特に、様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有すること（アセスメント）や、**学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化していくこと（ファシリテーション）**が求められる。

これらの観点を踏まえ、校長の資質について、2の成長段階に応じて向上させる観点も持ちつつ、指標の内容を定めることとする。その際、校長の採用に当たっては、面接等を含む選考試験が実施されることが一般的であることに鑑み、その選考に当たって求める能力と校長の指標との関係について、両者の趣旨の違いを踏まえつつ、整合性の確保について留意することとする。

出典：「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」（令和4年8月31日）
p. 11～12

2. 「ファシリテーション」とは？

「学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化していくこと」

出典：「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」p. 12

学校内外の関係者の相互作用
⇒ 話し合い・会議

学校の教育力
⇒ 話し合いの成果、授業の成果

2. 「ファシリテーション」とは？

「学校内外の関係者の相互作用」⇒話し合い・会議
⇒うまくいかないことが多々ある！

- 意見が出ない
- 声の大きい人の意見が通る
- 話が迷走する
- 目的が達成できない
- 会議がだらだら終わらない

⇒「なりゆき任せ」の話し合いだからです

⇒すべて「プロセス」の問題です

2. 「ファシリテーション」とは？

なりゆき任せ
= プロセスに無頓着

VS

場を整える
= プロセスに注意を払う

2. 「ファシリテーション」とは？

プロセスを整えること

ファシリテーション

2. 「ファシリテーション」とは？

プロセスを整える人

ファシリテーター

2. 「ファシリテーション」とは？



なりゆき任せ
プロセスに無頓着



場を整える
プロセスに注意を払う



実りがもたらされる！

2. 「ファシリテーション」とは？

- ファシリテーション = facilitation
- 「促進する」「容易にする」facilitateの名詞形
- 「グループの構成メンバーやプロセスをデザインしマネジメントすること。
これは、グループが作業をするのを支援し、共同作業を行うときに**ありがちな問題**を最小限にするもの」(Justice & Jamieson, 2012)

2. 「ファシリテーション」とは？

“共同作業を行うときに**ありがちな問題**”

- 意見が出ない
- 声の大きい人の意見が通る
- 話が迷走する
- 目的が達成できない
- 会議がだらだら終わらない

⇒「**ファシリテーション**」で解決！

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. プロセスに着目するとは？
6. 実践課題

3. プロセスとコンテンツ

例：同じ内容を教えていても
「流れ」 = プロセスが違う！！



コンテンツ = 内容 (*What* to teach)
プロセス = 過程 (*How* to teach)

3. プロセスとコンテンツ

■ 話し合い場面では

コンテンツ = 話し合いの内容 (*What* to discuss)

プロセス = 話し合いの過程 (*How* to discuss)

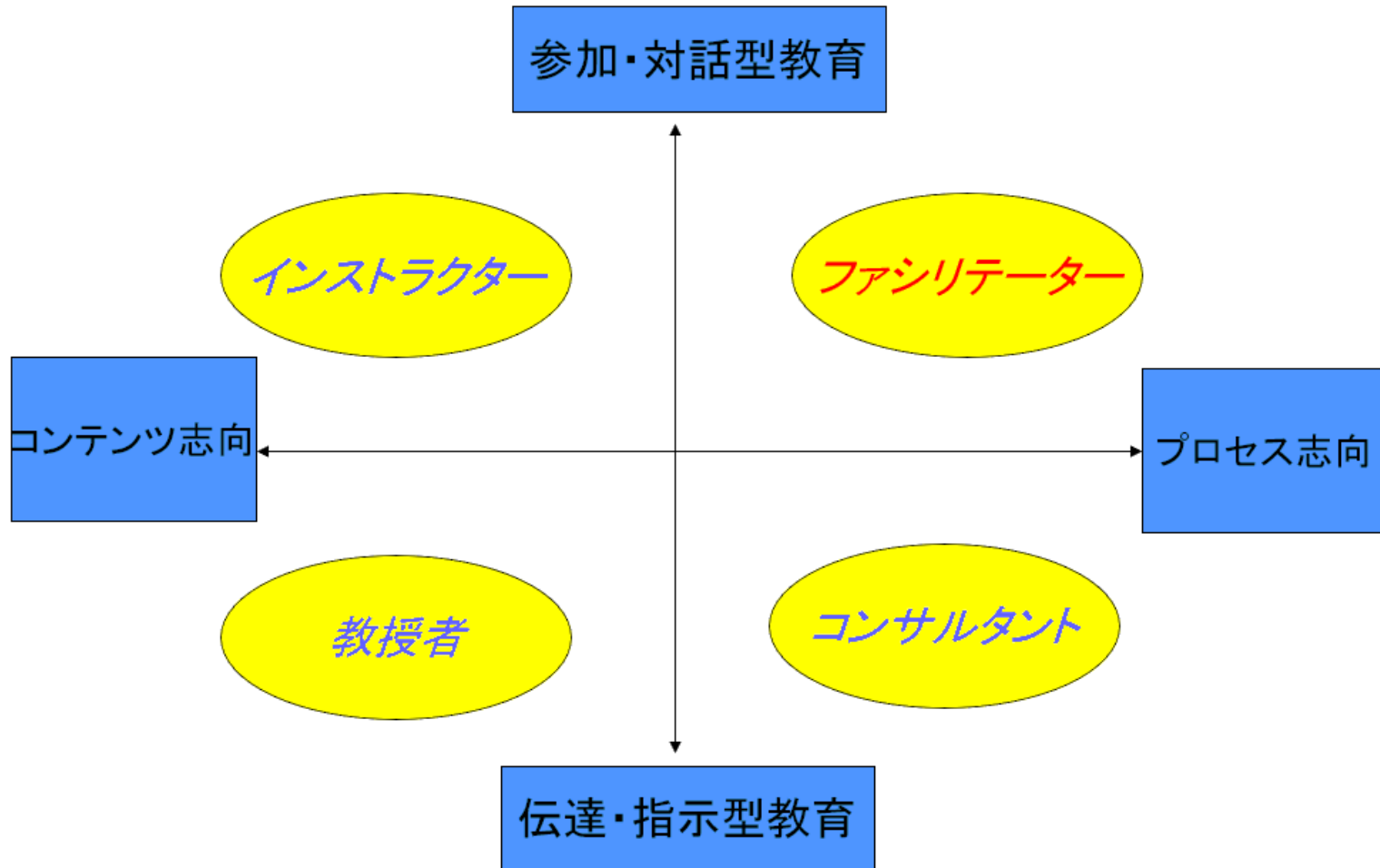
「何を話し合っているかには目がいくが、それがどのように話し合っているか = プロセスは誰も目を向けていない」 ⇒ 詳しくは各論で！

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. **ファシリテーション×教育**
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

4. ファシリテーション×教育

4つのタイプの教育者像



出典：津村・石田（2010）「ファシリテーター・トレーニング」（第2版）

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

5. ファシリテーター 3つのキーワード

- ① 「Why？」= 根拠を持って行動する
- ② 「プロセスを観る」
 - 外のプロセス
 - 内なるプロセス（思考・感情を観る）
- ③ 「安心・安全な場の確保」

⇒ 詳細は各論I（話し合いのファシリテーション）に続く

出典：中野・三田地（2013）「ファシリテーター行動指南書」

ファシリテーション総論の目次

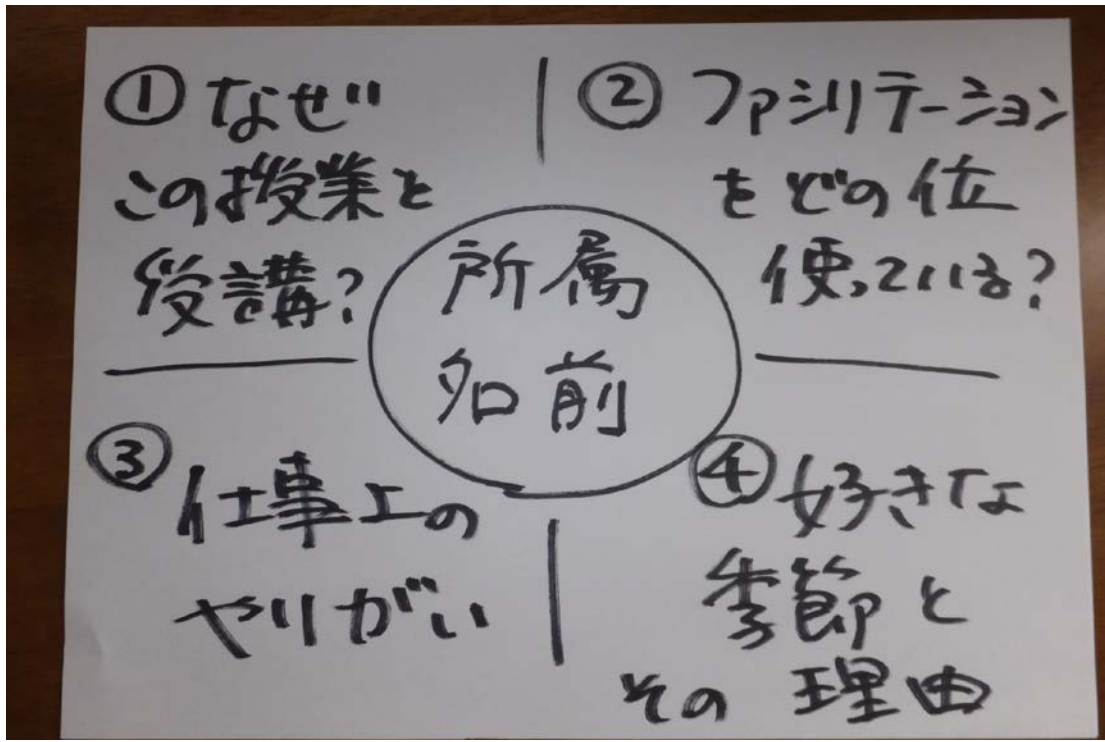
1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

6. 実践課題「自己紹介」のプロセスの見直し

① なりゆき任せの自己紹介の例

参加者が集まって「はい、では自己紹介しましょう」

② プロセスを整えた自己紹介の例



<やり方のポイント>

- ・ テーマを決める
- ・ 考える時間を持つ
- ・ 文字を見せながら発表する

6. 実践課題「自己紹介」のプロセスの見直し

①なりゆき任せの自己紹介

- 発表するとき
- 聞いているとき

②プロセスを整えた自己紹介

- 発表するとき
- 聞いているとき

⇒解説は各論 I の動画で！

ファシリテーション総論の目次

1. 今、なぜ「ファシリテーション」なのか？
2. 「ファシリテーション」とは？
3. プロセスとコンテンツ
4. ファシリテーション×教育
5. ファシリテーター 3つのキーワード
6. 実践課題

- ・ Justice, T. & Jamieson, D. W. (2012) *The Facilitator's Fieldbook*, American Management Association
- ・ 中野民夫（監修）三田地真実（2013）「ファシリテーター行動指南書—意味ある場づくりのために—」ナカニシヤ出版
- ・ 津村俊充・石田裕久（編）（2010）「ファシリテーター・トレーニング—自己実現を促す教育ファシリテーションへのアプローチ—（第2版）」ナカニシヤ出版

ファシリテーション動画の全体構成

1. ファシリテーション総論 **(本動画)**
2. ファシリテーション各論Ⅰ
(会議・話し合いに活用するファシリテーション)
3. ファシリテーション各論Ⅱ
(授業に活用するファシリテーション)
4. ファシリテーション各論Ⅲ
(学校経営に活用するファシリテーション)

To be continued !